

愛娘の思い出と夢を教え子に託す —アンダーソンさんご一家、石巻市に「テイラー文庫」を寄贈

業務部企画調整課

東日本大震災の犠牲となった米国出身の A L T (外国語指導助手) テイラーアンダーソンさんのご遺族が、平成 23 年 9 月 6 日に宮城県石巻市立万石浦小学校を訪れて、生徒達に「テイラー文庫」を寄贈し、贈呈式が行われました。

アンダーソンさんご一家は、御両親のアンディ、ジーン、次女のジュルズ、長男のジェフ、「敬称略」の 4 名で、テイラーさんが子供の時に愛読されていた本を、本棚と一緒に寄贈されました。この本棚は、御自身も 3 人のお子さん(テイラーさんの教え子であったようです)を亡くされた木工作家・遠藤伸一様が、テイラー文庫の趣旨に賛同されて作成されたもので、まさに絆といえるものです。最終的には、テイラーが教えていた 7 つの学校すべてにテイラー文庫が贈られることになっています。



挨拶をするアンディ・アンダーソンさん

贈呈式では、父親のアンディさんが 6 年生 (約 60 名) に、「テイラーにとって本は、夢を抱かせ、想像力を膨らませるとても大切なものであった」と、テイラーさんの本に対する気持ちを伝え、「テイラーは学校から読むように言われた本ではなく、読みたいと思った本を読んでいた」と話し、多くの本を読み、テイラー文庫をよく活用するように勧められていました。



色紙と花束をアンダーソンさんの家族に贈る万石浦小学校 6 年生代表

その後、6 年生の代表 4 人が追悼の気持ちを盛り込んだ挨拶を英語で行い、花束と色紙をご家族にプレゼントしました。

贈呈式に先立ち「テイラー文庫感謝状贈呈式」が行われ、亀山紘石巻市長が、テイラー文庫などを通して震災の復興に貢献しているアンダーソンさんの家族と東京アメリカンクラブに感謝状を贈りました。その後、テイラー文庫記念ビデオが上映されましたが、この中ではテイラーさんの石巻市での活躍が教え子の生の声を通して紹介されていました。また、テイラーさんのご両親が、テイラー文庫を含む「テイラー追悼基金」の創設動機につ

(CLAIR メールマガジン 2011 年 9 月配信)



テイラー文庫感謝状贈呈式でアンダーソンさんの家族に感謝状を贈呈する亀山紘石巻市長

いて、「もし彼女が生きていたら、そのまま石巻に残って学校や家族のみなさんのお手伝いをさせていただろうと思う。彼女がしたかったであろう、石巻の家族や生徒さんたちの手助けをしたかった。」と語ってくれています。

(スコット・ポーバ業務部プログラム・コーディネーター)

